ISO/TC123/SC2 国際会議出席報告書

報告者：日本機械学会 ISO/TC123 平軸受国内委員会委員 洪 秀明

1. **会議名** : ISO/TC123/SC2 (材料及び潤滑剤、その性能、特性、試験方法及び条件)

2. **開催地(場所)** : ドイツ ハノーバー Crowne-Plaza にて開催

3. **開催日時** : 2008年6月4日 10:00 ~ 16:30

4. 出席者:

Pメンバー国:

日本 9名 (染谷常雄、山本隆司、田中 正、岡本 裕、三原雄司、花橋 実、三
和高明、山田 晃、洪 秀明)

ドイツ 7名 (Klaus Deicke, Manfred Hukker, Manfred Häuser ,Klaus pucher,
Rolf Koring, Gunnar Hanschke, Albert Schmitz)

イギリス 1名 (Geoffrey Senier)

韓国 1名 (Kim, Choonghyun)

議長 : Klaus Deicke

幹事 : Gunnar Hanschke

幹事国 : ドイツ

5. 配布資料

① ISO/TC123/SC2 N398

Notice of meeting and revised Draft agenda of the SC2 Meeting on 2008-06-4 in
Hannover

② ISO/TC123/SC2 N393

Report of the Secretariat for the meeting of ISO/TC123/SC2 in Hannover /Germany
on 2008-06-04

6. 主要な確認・審議・決議事項等

(1) 開会 **Agenda 1**

Deicke 氏から SC2 会議開催にあたっての挨拶。

(2) 代表者の点呼 **Agenda 2**

出席者メンバーの自己紹介が行われ、出席者のリストが回付された。

(3) 議題案の承認 **Agenda 3**

Deicke 氏から、配布資料①に基づいて当会議の議題に関する説明があり、異議なく承認された。

(4) 起草委員会の任命 **Agenda 4**

Deicke 氏より決議及び議事録(案)の作成のため起草委員会として Geoffrey Senior 氏と三原雄司氏を任命したい旨の提案があり承認された。

(5) 議長の選出

Deicke 氏を議長として選出

(6) 幹事国報告 **Agenda 5**

- 1) Gunnar Hanschke 幹事から、配布資料②に基づいて、SC2 の組織 (議長 : Klaus Deicke、事務局 : Jorg Grassmann, Gunnar Hanschke、幹事国 : Germany) ・構成メンバー (P メンバー 7カ国 : 中国、ドイツ、日本、韓国、ロシア、南アフリカ、イギリス、O メンバー 11カ国 : オーストリア、ブラジル、チェコ、フランス、ハンガリー、インド、イタリア、ポーランド、ルーマニア、スロバキア、スペイン) の説明の後、北京会議後の案件の現状の説明があり、また、北京会議の決議録 (Short report and the resolutions of the Beijing meeting) は N390 として登録された。

(7) 規格に関する討議・審議内容 **Agenda 6**

Agenda 6.1 ISO/FDIS 7146-1 – Plain bearings – Appearance and characterization of damage to metallic hydrodynamic bearings - Part 1: General [50.00]

- ・ 次の段階に進めることになり、規格の題名変更が確認された。
- ・ 中国からコメントが提出されていたが中国代表団が欠席のためその審議は次回の会議にて検討することになった。
- ・ 染谷先生から、次の段階はFDIS投票になるが次回会議で中国コメントを検討するなら先に進めないとのコメントがあった。

Agenda 6.2 ISO/FDIS 7146-2 – Plain bearings – Appearance and characterization of damage to metallic hydrodynamic bearings – Part 2: Cavitation erosion and its countermeasures[50.00]

- ・ 次の段階に進めることになった

Agenda 6.3 ISO 4381: Plain bearings - Lead and tin casting alloys for multilayer plain bearings [10.20]

- ・ コーリング氏より提案[N395]されて間もないので、後刻コメントをだすことになった

Agenda 6.4 ISO 4383: Plain bearings - Multilayer materials for thin-walled plain bearings[10.20]

- ・ コーリング氏より銅合金、アルミニウム合金に関してサポートをしてほしい旨の依頼があった
- ・ これについても資料を回付し次回会議までに各国で検討することになった。

Agenda 6.5 ISO 4384-1: Plain bearings - Hardness testing of bearing metals -Part 1: Compound materials[10.20]

- ・ コーリング氏より提案[N400]されたが、次回会議までに各国で検討することになった。
- ・ 題名を「Compound materials」から「Multilayer plain bearing」に変更することが合意された。
- ・ オーバレイを含めることが合意された。

Agenda 6.6 ISO 4386-1: Plain bearings - Metallic multilayer plain bearings -Part 1:

Non-destructive ultrasonic testing of bond[10.20]

- コーリング氏より[N396]が提案されているが図が入っておらず新たに資料回付して、各国が幹事にコメント送付する。
- 本標準は鋳鉄には適用されない。

Agenda 6.7 ISO 4386-2: Plain bearings - Metallic multilayer plain bearings -Part 2: Destructive testing of bond for bearing metal layer thicknesses greater than or equal to 2 mm [10.20]

- コーリング氏より詳細な説明があり資料が回付されることになった。それに対して次回会議までに各国で検討することになった。

(8) 今後の業務項目 **Agenda 7**

Extra proposal ISO 6280 Plain bearings -- Requirements on backings for thick-walled multilayer bearings

- コーリング氏より鋼材について現状に則した様に改訂すべきとの提案あり。改訂すべきことで合意した。

Agenda 7.1 ISO 7148-1: Plain bearings – Testing of tribological behaviour of bearing materials – Part 1: Testing of bearing materials

Agenda 7.2 ISO 7148-2: Plain bearings – Testing of tribological behaviour of bearing materials – Part 2: Testing of polymer-based bearing materials

- ISO 7148-1,2 について三原先生より日本提案の説明があった。
- 2006パリ会議後の選挙結果の確認と再投票依頼の結果を幹事が明らかにすることが合意された。
- この2件は2009年の会議での見直しの際にDIS案件として取り扱うことが合意された。

(9) TC123からの規格の移管 **Agenda 8**

①ISO 4384-2 Plain bearings – Hardness testing of bearing metals – Part 2:Solid materials (Revision of ISO 4384-2:1982)

②ISO 4385 Plain bearings – Compression testing of metallic bearing materials (Revision of ISO 4385:1981)

③ISO 4386-2 Plain bearings – Metallic multilayer plain bearings – Part 2: Destructive testing of bond for bearing metal layer thickness greater than or equal to 2mm (Revision of ISO 4386-2:1982)

- 上記の ISO 4384-2; ISO 4385 , ISO 4386-2 の規格は、TC123 の管理案件であったが今後 TC123/SC2 に移管されることになった。
- ISO 4384-2 と ISO 4384-1 は今後 Hauser 氏と Deicke 氏により、協同して見直し作業をすることになった。

(10)韓国からの Foil bearing についての新規提案 **Agenda 9**

- ・ 韓国の金氏より Foil bearing の現状説明と NWIP 提案があり、NWIP として取り上げるようになった。
- ・ Foil bearing の用途やマーケットが議論になり、各国でその状況を調査することになった。
- ・ Foil bearing を規格化するにあたり参加してもらえるエキスパートを探すことになった。
- ・ 担当すべき最適の Technical Committee の検討が幹事に要請された。

(11) 球面軸受の規格を TC4 から TC123 へ移管打診の件

- ・ この件については次回会議まで結論を延期することをきめた。
- ・ 日本の代表団がこの件についてのエキスパートを探すことになった。

(12) 次回会議に関する要求事項 **Agenda 10**

- ・ 次回会議の開催場所は '08/6/6 開催の TC123 会議にて検討する
- ・ 山本先生よりメンバー獲得のためタイ・マレーシアなどのアジアでの開催の打診があった。

(13)決議の承認

決議案(Resolution taken at the 25th meeting of ISO/TC123/SC2 in Hannover / Germany on 2008-06-04)が読み上げられ、異議なく承認された。

(14)閉会

Deicke 議長より閉会の挨拶があり会議を終了した。

7. 終わりに

今回の SC2 会議は、扱い件数が多いこともあり 1 日を使って行われた。さらにこの会議で、TC123 から 3 件の移管があり、更にフォイルベアリング、球面軸受等大きな案件も議題にあがっている。取り扱い規格の数は他の SC と比較すると SC2 は非常に多くなっている。SC2 の定義が広すぎる事が原因のひとつであると思われるが、今回提案されたフォイルベアリング、球面軸受、ティルティングパッド等を含めて、TC123 の SC の体系を見直す時期ではないかと思われる。

以上